

語句解説(50音順)

あ行

【ICT】

「Information and Communication Technology」の略で、情報通信技術を表す言葉。これまでIT (Information Technology) が同義で使われてきたが、国際的にはITに「Communication (コミュニケーション)」を加えたICTが定着している。

【ウォークアブルなまちづくり】

コンパクトシティをより進化させた取組のひとつ。「居心地が良く、歩きたくなる」まちづくりとして、車中心から人中心の空間に転換する歩ける範囲の区域における、街路・公園・広場等の既存ストックの修復・利活用を重点的・一体的に行うこと。

【AI】

「Artificial Intelligence (人工知能)」の略で、コンピュータを使って、学習・推論・判断など人間の知能のはたらきを人工的に実現するための技術。

【オープンファクトリー】

工場を開放してものづくりの魅力を発信する工場見学イベントのこと。

か行

【カーボンニュートラル】

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。

【区域区分】

都市計画区域内を市街化区域と市街化調整区域に分けること。

【グリーンスローモビリティ】

時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。導入により、地域が抱える様々な交通の課題の解決や低炭素型交通の確立が期待される。

さ行

【サテライトオフィス】

企業や団体の本社・本拠から離れた場所に設置されたオフィスのこと。

【3D都市モデル】

都市空間に存在する建物や街路などに名称や用途、建築年といった都市活動情報を付与することで、都市空間そのものをデジタル上に3Dで再現したもの。

【Society5.0】

狩猟社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) に続く、人類社会発展の歴史における5番目の新しい社会の姿であり、AI やIoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技术をあらゆる産業や社会に取り入れることによりする実現する新たな未来社会を示す。

た行

【デマンド型乗合タクシー】

事前に予約を行い、他の利用者と乗合しながら目的地に向かうタクシーのこと。

ま行

【マイ・タイムライン】

住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするもの。

ら行

【リノベーション】

既存の建物に対して新たな機能や価値を付け加える改装工事のこと。

府中市都市計画マスタープラン（令和5年改訂版）

令和5年4月

発行 府中市
広島県府中市府川町315
TEL 0847-43-7111（代表）

編集 府中市建設部都市デザイン課
TEL 0847-43-7159（直通）